

2月市議会定例会

一般質問

2月市議会定例会では、3月3日(火)から3月5日(木)の3日間の日程で、11人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。



2月市議会定例会の様子

3月3日(火)

自民クラブ(代表質問)
山本 健十郎議員(40分)



(1)市長の政治姿勢について

① 2期目の最終年

② これまでの取り組みの成果

③ 今後の政策方針

④ 3期目の出馬要請

問 市長の県、住友グループ、経済界との良好な関係や市民の声を取り入れた施策の展開を評価し、各界各層から出馬要請の声がある。3期目の出馬について市長の意志を伺いたい。

答 3期目への出馬要請を頂いたことは誠にありがたく、身に余る光栄である。これまでの7年間を振り返るとともに、自身の気力、体力を見極め、家族や後援会の皆さんと相談した上で、できるだけ早い時期に判断したい。

(2) 新型コロナウイルスの現状と対策について

(3) 地域主導型公民館からの政策変更について

(4) 商業振興センターの現状と施設運営について

(5) 保育園、幼稚園等の給食費の無償化について

(6) 人口減少問題と出生率の向上対策について

(7) 総合運動公園の現状と早期の取り組みについて

問 この構想は佐々木前市長から石川市長に引き継がれ、平成29年3月31日に策定された。現

在、地籍調査を実施していると思うが、早期建設の取り組みをどのように進めていくのか。

答 地籍調査と並行して、先進自治体等の調査研究を行い、検討が必要な事項や課題の洗い出しを進める。早ければ令和3年度から総合運動公園構想の基本計画の策定作業に取り掛かりたいと考えている。

(8) 国道、県道、市道、農道の現状と都市計画道路の見直しについて

(9) ふるさと祭り東京への太鼓台派遣事業について

公明党議員団(代表質問)
藤原 雅彦議員(40分)



(1) 石川市政について

問 今回の当初予算総額が、過去最大規模となった要因はどこにあるのか。費用対効果や事業実施による成果、市民ニーズなどを総合的に判断し、事業の取捨選択を行った結果なのか。

答 端出場水力発電所整備事業などの公共事業の増加や幼保無償化に伴う負担額の増加などが影響した。事業は、費用対効果や成果などを総合的に判断し、取捨選択しているが、国の政策

や制度改正による増加もある。歳入の確保と徹底的な歳出の削減に取り組み、健全財政を維持したい。

(2) 家庭ごみの一部有料化について
(3) 学校教育のICT化について
(4) 幼保無償化実態調査について
(5) 新型コロナウイルスについて
(6) 消防水利について
(7) ローカル5Gについて
(8) 公共工事の施行時期の平準化について

(9) 就職氷河期世代への支援について

問 就職氷河期世代の支援についてどのような認識をお持ちか。また、いくつかの自治体が行おうとしている職員採用や採用資格などの緩和に対しての所見を伺いたい。

答 就職氷河期世代の支援は、社会全体で取り組むべき課題と認識している。本市では、一部の試験区分で受験資格年齢の上限を39歳あるいは44歳としているが、就職氷河期世代の支援を目的とした採用試験については、職務経験者や有資格者を対象とした試験区分の中で検討したい。

(10) 加齢性難聴者の補聴器購入助成について

新居浜の未来を考える会
 (代表質問)
 神野 恭多議員 (40分)



(1) 施政方針について

- ① Society 5.0の推進
- ② 駅伝のまち新居浜
- ③ 広域連携による観光振興
- ④ 新居浜太鼓祭り
- (2) 新型コロナウイルスについて
- (3) ODAループについて
- (4) コミュニティ・スクールについて

問 市内全ての学校がコミュニティ・スクールを開始し1年が経過した中、いくつかの課題が見える。そこで地域と学校をつなぐコーディネーターの必要性を感じるがいかがか。

答 コーディネーターは、教員や公民館職員が担っている校区が多いのが現状であり、教員等の負担軽減を図り、持続可能な取り組みとするため、令和2年度からは各地域から推薦された方を対象に研修を通して人材の確保に努める。

(5) 若宮小学校跡地整備について

問 県、市、地域企業が一体でローカル5Gの基地局を整備し教育、若者支援なども交え地域企業の支援、参画にもつながるインキュベーション施設として

の拠点整備を目指しては。
答 現時点の改修計画では、通信回線については、指定管理者が整備することを想定している。小学校跡地整備が進んだ段階で指定管理者と協議し、施設の設置目的に沿った活用が図られる最善の通信環境の整備を進めたい。

3月4日(水)

無党派

共谷 幸恵議員 (10分)



(1) ひとり親家庭の支援について

- ① 養育費未払いの実態と支援のあり方
- ② 相談窓口の充実
- (2) ベンチの設置について
- ① バス停のベンチ
- ② ふれあいベンチ

(3) 教員の働き方について

- ① 加配教員と代替教員の増員
- ② 支援員の増員
- ③ 変形労働時間制

自民クラブ

藤田 誠一議員 (30分)



(1) 防災について

- ① 総合防災拠点施設
- ② ソフト面の取り組み
- (2) 都市間交流について
- (3) 歯科衛生士について

問 2021年4月の歯科衛生士学科新設を目指している中、定員充足率および市内での衛生士不足解決のため、新設に併せて修学支援制度導入に向けた支援を検討してはどうか。

答 愛媛県歯科医師会において、歯科衛生士確保および質の向上に資することを目的とした歯科衛生士修学支援事業が実施されているが、本市での修学支援制度の創設は、歯科衛生士の確保だけでなく、総合戦略に掲げる移住・定住の促進にもつながる有効な施策であるため、創設に向けて検討していきたい。

- (4) 市職員について
- ① スポーツ・文化枠
- ② 在課年数
- (5) 東京オリンピックについて
- ① 太鼓台の派遣

(5) 東京オリンピックについて

問 東京オリンピックへの太鼓台の派遣は、どこにいつ出演することを目指して取り組まれているのか、スムーズな派遣が行えるような体制づくりは検討されているのかお聞きする。

答 東京有明の武蔵野大学有明

キャンパスに設置する2020ホストタウン・ハウスへの出演が、時期や場所など総合的に判断して最適だと考えている。出演が正式決定されれば、庁内体制や太鼓台関係者との協力体制の構築を進められるよう準備をしたい。

- ② 事前合宿の誘致
- ③ 聖火リレー

無党派

小野 志保議員 (10分)



(1) 身体障害者補助犬について

- ① 自立生活と社会参加の促進
- ② 理解と啓発
- ③ 行政の役割
- (2) 放課後児童クラブについて
- ① 多様化する課題への対応
- ② 指導員の確保

無党派

片平 恵美議員 (10分)



(1) 児童発達支援センターについて

- ① 児童発達支援センターの重要性

- ② 福祉と教育の連携
- (2) 男女共同参画について
- ① 女性職員の配置
- ② 男性保育士の増員

- ② 男性保育士の増員

自民クラブ
伊藤嘉秀議員 (30分)



(1) 教育行政について

- ① 令和2年度教育方針
- ② 学力の向上
- ③ プログラミング教育
- ④ 小学校の英語教科化
- ⑤ 市民体育館空調工事
- ⑥ 小中学校体育館空調工事
- ⑦ 学校給食施設

⑧ 高齢者生きがい創造学園

問 新居浜ならではの施設、一拠点に多くの講座やサークルが集まる高齢者生きがい創造学園の移転問題について、現在の活動状況と今後の方針と計画を教えてください。

答 令和元年度は、17講座を約400人の方が受講するとともに、52サークルで約1千400人の方が学園活動の一環として自主的に活動している。現在、講座やサークル活動の機能移転の結論には至っておらず、現状に近い状態で活動できるよう、利用者の皆さんや関係機関と連携を図りながら、できるだけ早期に今後の方針を決定したい。

⑨ 奨学資金貸付基金

- (2) 子ども食堂の現状について
- (3) 第六次長期総合計画の策定に

ついて

① 産業道路 (壬生川新居浜野田線)

問 市役所通りを含む産業道路は、幅が狭く大型トレーラーの通行には、危険と支障を来す状態になっている。臨海部の工場群をつなげる新たな産業道路の計画が必要ではないか。

答 現在、市全体の都市計画道路の見直し作業を進めており、道路網全体の検証を行う中で、産業道路の必要性、実現性などを考慮しながら判断したい。

- (4) スマートシティについて
- ① 支援システム

3月5日 (木)

自民クラブ

白川 誉議員 (30分)



(1) 縦割り行政の脱却、部局間の連携について

① 地域ポイント事業新居浜あかがねポイント

問 縦割り行政の脱却を図る大きなチャンスになる地域ポイント事業について、各部署からの提案内容を市民に公開し、投票方式で対象事業を選定する仕組みを導入できないのか。

答 提案のあった市民投票型の事業決定方式のような、話題性のある市民参加型の事業決定方法なども選択肢として、さまざまなアイデアをいただきながら、検討したいと考えている。

- ② ソーシャル・インパクト・ボンドのカスタマイズ
- ③ 部局間連携のわかりやすい指標、健康経営
- (2) これからの公共交通について
- ① 2日間バスだけ生活
- ② 他の施策事業との連携

(3) 官民連携の推進について

① スマートシティの本質
② 民間目線から見た官民連携が進まない大きな壁

問 民間目線からすると官民連携が進まない「大きな壁」は、部局間調整の時間とスピードの遅さである。新居浜市にはこのような壁があるのかないのか、聞かせてほしい。

答 事案に応じて、部局間がフレキシブルかつ迅速に連携することにより、民間のスピードに合わせた対応が可能であると感じている。今後とも職員一人一人が現状を熟知し、積極的に情報発信できる営業マンのような行動がとれるよう、管理職が先

頭に立ってリーダーシップを発揮していく。

③ 稼ぐ自治会への転換

新居浜の未来を考える会
米谷和之議員 (30分)



(1) 第六次長期総合計画の策定について

① 第五次長期総合計画の検証

問 現計画の進捗度の検証が決定的に欠けているのでは。子育て支援、防災などの4つの重点項目をどう検証したのか。市民が参加する審議会等で再度検証を願いたい。どうか。

答 毎年の行政評価や第五次長期総合計画を総括するために計画期間を通じた評価を実施し、検証している。今後開催予定の政策懇談会やワーキンググループの中でも検証の議論をしていきたい。

② 協働の計画づくり

- ③ コンサルタントへの業務委託
- ④ RCCアクションプランの現状

(2) 防災体制の整備について

- ① (仮称) 危機管理統括部長の位置づけ
- ② 高齢者、障がい者への対策の強化



新居浜市議会事務局

←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

問 国ではマイナンバーカードの健康保険証代替など、カードの交付率拡大に取り組んでいる。本市も、交付手続きの簡素化やカードの必要性をさらにアピールすべきでは。

答 令和2年度から窓口の増設や職員の増員などを行い、カー

③ 地域防災計画の修正
現在の地域防災計画は平成27年度にまとめたものだが、防災体制の変更などに合わせ、障がい者の代表を委員に加える、具体的な数値目標を設定するなど、修正が必要ではないか。

答 地域防災計画の個別計画に明記されている取り組みの中で数値目標が明らかにできるものがあれば見直していきたい。また、社会福祉協議会などから委員を加えることで福祉面からの意見をいただけるように図りたい。

① ICTの活用と市民サービスの上

② マイナンバーカードの普及活用

(1) 情報通信技術（ICT）について

公明党議員団
高塚 広義議員（30分）



下の交付事務などの窓口体制を強化するとともに、出前講座などを通じたマイナンバー制度の周知内容に、今後は具体的な申請サポートも加え、交付率の向上を図りたい。

(2) 暗所視支援眼鏡について

(3) スマホ依存症について

問 スマホに依存すると、大人でも判断力の低下などが見られ、子どもに至っては学習能力の低下や対話能力の欠如につながるというわれている。市として、どう対応するのか。

答 小中学校では、年1回スマホなどの利用の安全教室や啓発プリントの配布を実施しており、今後もPTAや家庭と一体となり、取り組みを進める。また、保育園などへの出前講座や健診時に、保護者に対して乳幼児への影響やスマホを使わない育児などの周知啓発の取り組みを進める。

(4) 災害発生時の情報共有について

① 基盤的防災情報流通ネットワーク（SIP4D）

② 危機管理体制への組織機構の見直し

③ 業界団体との情報共有

④ 放送電波を利用した災害情報

6月市議会定例会

時間 午前10時開会
本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、
市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内容
6月9日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
6月16日(火)	一般質問 ・予算質疑 藤田 幸正 議員(30分) 黒田 真徳 議員(30分) 合田晋一郎 議員(30分)
6月17日(水)	一般質問 ・予算質疑 小野 志保 議員(10分) 井谷 幸恵 議員(10分) 越智 克範 議員(30分) 大條 雅久 議員(30分)
6月18日(木)	一般質問 ・予算質疑 片平 恵美 議員(10分) 河内 優子 議員(30分) 篠原 茂 議員(30分)
6月19日(金)	企画教育委員会開催 市民福祉委員会開催
6月22日(月)	経済建設委員会開催
6月25日(木)	委員長報告、討論、採決

特別委員会開催報告

◎都市基盤整備促進特別委員会
4月27日(月)

国道11号バイパス、県道及び都市計画道路の整備促進、企業誘致（臨海工業用地の確保を含む）、大島・荷内沖開発、総合運動公園の建設の各事項における今後の計画などについて、市担当部局から聞き取り調査を行いました。

◎防災・災害対策特別委員会
4月17日(金)

新居浜市防災センターを視察するとともに、新型コロナウイルス感染症における議会の対応について、協議を行いました。

◎地方創生特別委員会
4月15日(水)

地域ポイント事業「新居浜あかがねポイント」などについて、市担当部局から聞き取り調査を行いました。